

## 資料4について(補足事項)

### 1. 就学可能学級数から外す教室(特別教室)について

全ての学校において、ほぼ通常の教室の大きさがある教室は就学可能学級数とカウントしている。ただし、以下の教室については通常の教室の大きさであっても就学可能学級数からははずしている。

・音楽室 ・図工室 ・家庭科室 ・コンピュータ室 ・理科室 ・美術室  
・技術室 ・通級教室 ・図書室(全校で使うもの)

### 2. 将来的な児童・生徒数の展望について

5の「将来的な児童・生徒数等の展望」については平成30年度と平成36年度を比較し、以下のようにした。

平成30年度に比べた平成36年度の児童・生徒数の割合

児童・生徒数の割合が125%以上になっている＝大幅な増加傾向  
児童・生徒数の割合が115%～124%になっている＝増加傾向  
児童・生徒数の割合が105%～114%になっている＝やや増加傾向  
児童・生徒数の割合が95～104%の範囲＝ほぼ横ばい  
児童・生徒数の割合が85～94%になっている＝やや減少傾向  
児童・生徒数の割合が75～84%になっている＝減少傾向  
児童・生徒数の割合が74%以下になっている＝大幅な減少傾向

### 3. 就学可能学級数における学級の大きさについて

特別支援学級については、人数等の関係により通常の大きさの教室より小さい教室を使っている学校もある。通常の教室より小さい教室は就学可能学級数とはカウントしていないため、「就学可能学級数」より「通常学級と特別支援学級を足した学級数」が多くなっていたり、「就学可能学級数」から「通常学級と特別支援学級を足した学級数」を引いた数が「他の用途で使用している教室」と同数になっていなかったりする学校もある。(別紙参照)

### 4. 学級数について

学級数については上段が通常学級、下段の括弧でくくっている数が特別支援学級の数である。

なお学級数は小学1年生から3年生、中学1年生は35人学級、小学4年生から6年生、中学2、3年生は38人学級で計算している。

### 5. 特別支援学級の学級数について

特別支援学級の小学校の学級数は平成30年度の学級数が平成36年度まで続くものとして計算している。

特別支援学級の中学校の学級数は、小学校において特別支援学級に所属している児童がそのまま中学校でも在籍したのものとしてカウントしている。

なお特別支援学級1学級の児童生徒数の上限は、知的特別支援学級、自閉症・情緒特別支援学級・肢体不自由特別支援学級とも8人であり、その人数をこえると学級が増える。

## 6. 児童・生徒数について

児童数・学級数の推移、生徒数・学級数の推移の項目にある児童・生徒数については、平成30年5月1日現在の住民基本台帳人口をもとに算出しており、宅地開発等で人口増が予想される学校においても、その数字は考慮していない。なお平成30年度については、5月1日現在の各学校の児童生徒数の実数である。

## 7. 小規模特認校制度について

小規模校の特性を生かした教育活動を推進している小中学校に、更に特色を持たせ、そのような小規模校において教育を受けさせたいという保護者の希望に応えるため、一定の条件のもとに通学区域外からの入学を認め、児童生徒を受け入れる制度である。

## 就学可能学級数における学級の大きさについて

## 1. 小学校

学 校 名	理 由
東清小学校	特別支援学級の1学級については、普通教室より小さい教室を使用しているため、就学可能学級数に含まれていない。
鎌足小学校	特別支援学級の2学級については、普通教室より小さい教室を使用しているため、就学可能学級数に含まれていない。
中郷小学校	特別支援学級の2学級については、普通教室より小さい教室を使用しているため、就学可能学級数に含まれていない。
富岡小学校	特別支援学級の2学級については、普通教室より小さい教室を使用しているため、就学可能学級数に含まれていない。
八幡台小学校	特別支援学級の4学級の内、1学級については、普通教室より小さい教室を使用しているため、就学可能学級数に含まれていない。
真舟小学校	現在の学級数が32学級となっているが、図工室(1)、視聴覚室(1)、多目的室(2)、を教室に転用し、特別支援学級は1教室を2学級で使用。 また、就学可能学級数は普通教室(24)、特別支援学級(3)、視聴覚室(1)、多目的室(2)により算出している。

## 2. 中学校

学 校 名	理 由
木更津第二中学校	特別支援学級の3学級の内、2学級については、1つの普通教室を2教室として使用しているため、就学可能学級数から学級数を引いても1教室分の差が生じている。
鎌足中学校	特別支援学級の1学級については、普通教室より小さい教室を使用しているため、就学可能学級数に含まれていない。
畑沢中学校	特別支援学級の2学級については、普通教室より小さい教室を使用しているため、就学可能学級数に含まれていない。
清川中学校	特別支援学級の2学級については、普通教室より小さい教室を使用しているため、就学可能学級数に含まれていない。

①木更津第一小学校		年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度
児童数・学級数の推移	児童数	411	403	376	368	365	378	366	
	学級数	13 (3)	13 (3)	12 (3)	12 (3)	12 (3)	12 (3)	12 (3)	12 (3)
施設関係	建設年度	就学可能学級数		他の用途で使用している教室					
	H21	19		3					
	他の用途で使用している教室（普通教室に転用可能な教室）の活用状況								
	児童会室1、TTルーム2								
現状と課題	1 教室は足りているか	・足りている。							
	2 敷地面積は十分か	・十分な運動場が確保できない。							
	3 施設は整備されているか	・体育館、プール有り。							
	4 通学距離は適当か	・学区全域が片道2km以内である。							
	5 将来的な児童数の展望は	・やや減少傾向と予想される。							
	6 学校の位置は適当か	・学区のほぼ中心部に位置している。							
	7 その他	・学区全域は中心市街地を形成している。 ・平成21年度、校舎を改築した。 ・木更津市学校給食センター受配校である。							

②木更津第二小学校		年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度
児童数・学級数の推移	児童数	455	470	477	462	449	431	426	
	学級数	16 (2)	16 (2)	16 (2)	15 (2)	15 (2)	14 (2)	14 (2)	
施設関係	建設年度	就学可能学級数		他の用途で使用している教室					
	S45・46・47・51	26		7					
	他の用途で使用している教室（普通教室に転用可能な教室）の活用状況								
	会議室1、多目的室2、算数教室1、絵本の部屋1、なかよしプレイルーム1、児童会室1								
現状と課題	1 教室は足りているか	・足りている。							
	2 敷地面積は十分か	・十分である。							
	3 施設は整備されているか	・体育館、プール有り。							
	4 通学距離は適当か	・学区全域が片道3km以内である。							
	5 将来的な児童数の展望は	・やや減少傾向と予想される。							
	6 学校の位置は適当か	・学区の北部に位置している。							
	7 その他	・学区は市街地に隣接し、商業・準工業地及び住宅地としての様相を呈している。 ・学区には国道幹線及びバイパス道路があり、交通量が極めて多い。 ・真舟小学校の開校に伴い、平成26年度から真舟地区が木更津二小学区から、真舟小学区となった。 ・地域によっては、交通機関（バス）を利用する児童もいる。 ・木更津市学校給食センター受配校である。							

※本来は複式学級になるところを増置職員を活用し、複式学級化を防いでいる。

③東清小学校		年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度
児童数・学級数の推移	児童数	54	56	50	41	33	34	23	
	学級数	※6 (1)	6 (1)	※6 (1)	※6 (1)	4 (1)	4 (1)	4 (1)	
施設関係	建設年度	S41・52・56		就学可能学級数			他の用途で使用している教室		
				8 9			2 3		
	他の用途で使用している教室（普通教室に転用可能な教室）の活用状況								
	学童保育へ貸与1、会議室1、多目的室1								
現状と課題	1 教室は足りているか	・足りている。							
	2 敷地面積は十分か	・十分である。							
	3 施設は整備されているか	・体育館、プール有り。							
	4 通学距離は適当か	・学区全域が片道4km以内である。							
	5 将来的な児童数の展望は	・大幅な減少が予想される。							
	6 学校の位置は適当か	・学区の北西部に位置している。							
	7 その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建物敷地と運動場に借用地がある。</li> <li>・今年度は増置教員を活用し、複式学級となるのを防いでいるが、平成34年度からは増置教員を活用しても複式学級ができる可能性がある。</li> <li>・小規模特認校である。</li> <li>・給食は親子方式であり、自校で調理している。</li> </ul>							

④西清小学校		年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度
児童数・学級数の推移	児童数	265	268	274	295	308	317	340	
	学級数	10 (3)	10 (3)	10 (3)	10 (3)	11 (3)	11 (3)	12 (3)	
施設関係	建設年度	S43・44		就学可能学級数			他の用途で使用している教室		
				15			2		
	他の用途で使用している教室（普通教室に転用可能な教室）の活用状況								
	資料室1、多目的室1								
現状と課題	1 教室は足りているか	・36年度までは足りる予定である。							
	2 敷地面積は十分か	・狭隘のため、体育館の上にプールを設置しても十分な運動場が確保できない。							
	3 施設は整備されているか	・体育館、プール有り。							
	4 通学距離は適当か	・学区全域が片道4km以内である。							
	5 将来的な児童数の展望は	・大幅な増加が予想される。							
	6 学校の位置は適当か	・学区の南部に位置している。							
	7 その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学区には国道16号線バイパス道路と旧道が並行して走り、交通量が多い。</li> <li>・建物敷地と運動場に借用地がある。</li> <li>・給食は親子方式であり、中郷小で調理したものである。</li> </ul>							

⑤南清小学校								
児童数・学級数の推移	年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度
	児童数	530	501	486	436	399	364	344
	学級数	17 (3)	17 (3)	16 (3)	14 (3)	13 (3)	12 (3)	12 (3)
施設関係	建設年度	就学可能学級数		他の用途で使用している教室				
	H20・25	25		5				
	他の用途で使用している教室（普通教室に転用可能な教室）の活用状況							
	児童会室1、教育相談室1、PTA会議室1、教材室（物置）1、学童保育1							
現状と課題	1 教室は足りているか	・足りている。						
	2 敷地面積は十分か	・十分である。						
	3 施設は整備されているか	・体育館、プール有り。						
	4 通学距離は適当か	・一部片道4kmを超える地域がある。（5km以内）						
	5 将来的な児童数の展望は	・大幅な減少が予想される。						
	6 学校の位置は適当か	・学区の北西部に位置している。						
	7 その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学区の一部が主要道路によって分断されている。</li> <li>・宅地開発、大型商業店舗の進出により、市街地としての状況を見せ、児童数が急増した。</li> <li>・児童数の急増に伴い、平成25年度に新たに校舎を増築した。</li> <li>・給食は親子方式であり、東清小で調理している。</li> </ul>						

⑥清見台小学校								
児童数・学級数の推移	年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度
	児童数	542	530	534	534	538	538	519
	学級数	18 (3)	18 (3)	18 (3)	18 (3)	18 (3)	18 (3)	18 (3)
施設関係	建設年度	就学可能学級数		他の用途で使用している教室				
	S45・46・56	30 32		9 11				
	他の用途で使用している教室（普通教室に転用可能な教室）の活用状況							
	研修室1、低学年図書室1、資料室2、国際理解教室1、PTA室1、教材室2、児童会室1、学童保育2							
現状と課題	1 教室は足りているか	・足りている。						
	2 敷地面積は十分か	・十分である。						
	3 施設は整備されているか	・体育館、プール有り。						
	4 通学距離は適当か	・学区全域が片道2km以内である。						
	5 将来的な児童数の展望は	・ほぼ横ばいと予想される。						
	6 学校の位置は適当か	・学区の北部に位置している。						
	7 その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅地と商業地が一体化した地域であり、教育施設も多く見られる。</li> <li>・建物敷地と運動場に借用地がある。</li> <li>・木更津市学校給食センター受配校である。</li> </ul>						

⑦祇園小学校								
児童数・学級数の推移	年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度
	児童数	582	570	564	555	553	543	520
	学級数	18 (4)	18 (4)	18 (4)	18 (4)	18 (4)	17 (4)	16 (4)
施設関係	建設年度	就学可能学級数		他の用途で使用している教室				
	S49・50・ 53・56	32 33		40 11				
	他の用途で使用している教室（普通教室に転用可能な教室）の活用状況							
	児童会室1、T Tルーム3、多目的室1、会議室1、生活科室1、ランチルーム1、PTA室1、予備室1、低学年図書室1							
現状と課題	1 教室は足りているか	・足りている。						
	2 敷地面積は十分か	・十分である。						
	3 施設は整備されているか	・体育館有り。プールは来年度から使用できる予定。						
	4 通学距離は適当か	・学区全域が片道2 km以内である。						
	5 将来的な児童数の展望は	・やや減少傾向と予想される。						
	6 学校の位置は適当か	・学区のやや東部に位置している。						
	7 その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・31年度から、清見台東3丁目、菅生(東清小学区を除く)清川1・2丁目の児童は、清川中学校から木更津第三中学校へ進学先が変更となる。</li> <li>・学区の大部分が宅地造成地であり、戸建住宅・社宅とも多い。</li> <li>・学区内には国立高専、私立幼稚園、市立保育園等がある。</li> <li>・給食は親子方式であり、自校で調理している。</li> </ul>						

⑧岩根小学校								
児童数・学級数の推移	年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度
	児童数	317	316	328	331	332	324	331
	学級数	12 (3)	12 (3)	12 (3)	12 (3)	12 (3)	12 (3)	12 (3)
施設関係	建設年度	就学可能学級数		他の用途で使用している教室				
	S42・43・53	32		17				
	他の用途で使用している教室（普通教室に転用可能な教室）の活用状況							
	児童会室1、会議室1、生活科室1、少人数教室5、相談室1、資料室1、教材室1、学童室1、放課後子ども教室2、PTA室1、備品庫2							
現状と課題	1 教室は足りているか	・足りている。						
	2 敷地面積は十分か	・十分である。						
	3 施設は整備されているか	・体育館、プール有り。						
	4 通学距離は適当か	・学区全域が片道3 km以内である。						
	5 将来的な児童数の展望は	・ほぼ横ばいと予想される。						
	6 学校の位置は適当か	・学区の東端に位置している。						
	7 その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・J R内房線の西側の旧市街地である。</li> <li>・運動場に借用地がある。</li> <li>・給食は親子方式であり、自校で調理している。</li> </ul>						

⑨高柳小学校		年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度
児童数・学級数の推移	児童数	401	404	401	389	377	382	387	
	学級数	13 (3)	13 (3)	13 (3)	12 (3)	12 (3)	13 (3)	13 (3)	
施設関係	建設年度	就学可能学級数		他の用途で使用している教室					
	S46・48・ 53・55	26 27		40 11					
	他の用途で使用している教室（普通教室に転用可能な教室）の活用状況								
	児童会室1、学年集会室5、更衣室1、英語ルーム1、 プレイルーム1、会議室1、教育相談室1								
現状 と 課 題	1 教室は足りているか	・足りている。							
	2 敷地面積は十分か	・十分である。							
	3 施設は整備されているか	・体育館、プール有り。							
	4 通学距離は適当か	・学区全域が片道3.5km以内である。							
	5 将来的な児童数の展望は	・ほぼ横ばいと予想される。							
	6 学校の位置は適当か	・学区の北東部に位置している。							
	7 その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JR内房線の東側の旧市街地である。</li> <li>・学区には国道16号線バイパス道路と旧道が並行して走り、交通量が多い場所がある。</li> <li>・給食は親子方式であり、自校で調理している。</li> </ul>							

⑩波岡小学校		年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度
児童数・学級数の推移	児童数	230	238	225	235	227	239	231	
	学級数	9 (2)	10 (2)	9 (2)	10 (2)	9 (2)	10 (2)	9 (2)	
施設関係	建設年度	就学可能学級数		他の用途で使用している教室					
	S35・40・ 48・54	16		5					
	他の用途で使用している教室（普通教室に転用可能な教室）の活用状況								
	児童会室1、多目的室4								
現状 と 課 題	1 教室は足りているか	・足りている。							
	2 敷地面積は十分か	・十分である。							
	3 施設は整備されているか	・体育館、プール有り。							
	4 通学距離は適当か	・学区全域が片道4km以内である。							
	5 将来的な児童数の展望は	・ほぼ横ばいと予想される。							
	6 学校の位置は適当か	・学区のやや南西部に位置している。							
	7 その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昭和40年代からの大久保・八幡台など相次ぐ宅地造成により、急速に宅地化が進行した。</li> <li>・通学区域見直しにより、平成18年度から畑沢4丁目・港南台1・2・5丁目波岡小学区となった。</li> <li>・国道127号線バイパスと片側一車線の狭い市道に接しているため、通学の安全性の確保が大きな問題である。</li> <li>・建物敷地と運動場に借用地がある。</li> <li>・給食は親子方式であり、自校で調理している。</li> </ul>							



⑪鎌足小学校								
児童数・学級数の推移	年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度
	児童数	80	80	79	85	83	83	76
	学級数	6 (2)	6 (2)	6 (2)	6 (2)	6 (2)	6 (2)	6 (2)
施設関係	建設年度	就学可能学級数		他の用途で使用している教室				
	S43・49・63	7		1				
	他の用途で使用している教室（普通教室に転用可能な教室）の活用状況							
	郷土資料室1							
現状と課題	1 教室は足りているか	・足りている。						
	2 敷地面積は十分か	・敷地形状により、十分な運動場が確保できない。						
	3 施設は整備されているか	・体育館、プール有り。						
	4 通学距離は適当か	・一部片道4 kmを超える地域がある。（5 km以内）						
	5 将来的な児童数の展望は	・ほぼ横ばいと予想される。						
	6 学校の位置は適当か	・学区のやや北西部に位置している。						
	7 その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旧鎌足村地区であり、地域の繋がり強い地区である。</li> <li>・学区の大半が市街化調整区域であるため、将来的にも児童数の大幅増は見込めない状況である。</li> <li>・給食は親子方式であり、自校で調理している。</li> </ul>						

⑫金田小学校								
児童数・学級数の推移	年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度
	児童数	182	197	218	250	290	333	379
	学級数	7 (2)	8 (2)	9 (2)	10 (2)	12 (2)	14 (2)	15 (2)
施設関係	建設年度	就学可能学級数		他の用途で使用している教室				
	S3・40・41	11		2				
	他の用途で使用している教室（普通教室に転用可能な教室）の活用状況							
	会議室1、教材室1							
現状と課題	1 教室は足りているか	・32年度までは足りるが、それ以降は足りなくなる可能性が高い。						
	2 敷地面積は十分か	・十分である。						
	3 施設は整備されているか	・体育館、プール有り。						
	4 通学距離は適当か	・学区全域が片道3.5 km以内である。						
	5 将来的な児童数の展望は	・大幅な増加が予想される。						
	6 学校の位置は適当か	・学区の南部に位置している。						
	7 その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京湾アクアラインの接岸地であり、観光業の発展がみられる。</li> <li>・現在、土地区画整理事業が進んでおり、人口が急増する可能性の高い地域である。</li> <li>・給食は親子方式であり、自校で調理している。</li> </ul>						

※本来は複式学級になるところを増置職員を活用し、複式学級化を防いでいる。

⑬中郷小学校								
児童数・学級数の推移	年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度
	児童数	68	77	81	85	90	85	83
	学級数	※6 (2)	※6 (2)	6 (2)	6 (2)	6 (2)	6 (2)	6 (2)
施設関係	建設年度	就学可能学級数		他の用途で使用している教室				
	H26 (仮設校舎)	7		1				
	他の用途で使用している教室（普通教室に転用可能な教室）の活用状況							
	教材室1							
現状と課題	1 教室は足りているか	・足りている。						
	2 敷地面積は十分か	・十分な運動場が確保できない。						
	3 施設は整備されているか	・体育館、プール有り。						
	4 通学距離は適当か	・学区全域が片道4km以内である。						
	5 将来的な児童数の展望は	・増加傾向と予想される。						
	6 学校の位置は適当か	・学区の北部に位置している。						
	7 その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旧中郷村地区であり、地域の繋がり強い地区である。</li> <li>・学区の大半が市街化調整区域であるため、将来的にも児童数の大幅増は見込めない状況である。</li> <li>・建物敷地に借用地がある。</li> <li>・現在は中郷中学校敷地内にある仮設校舎だが、平成31年度から井尻にある新校舎(本来の中郷小の場所)に移る予定である。</li> <li>・小規模特認校である。</li> <li>・給食は親子方式であり、自校で調理している。</li> </ul>						

⑭馬来田小学校								
児童数・学級数の推移	年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度
	児童数	163	177	176	182	169	153	143
	学級数	6 (2)	6 (2)	6 (2)	6 (2)	6 (2)	6 (2)	6 (2)
施設関係	建設年度	就学可能学級数		他の用途で使用している教室				
	S55 H4・23	12		4				
	他の用途で使用している教室（普通教室に転用可能な教室）の活用状況							
	教育相談室1、多目的室3							
現状と課題	1 教室は足りているか	・足りている。						
	2 敷地面積は十分か	・十分である。						
	3 施設は整備されているか	・体育館、プール有り。						
	4 通学距離は適当か	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一部片道4kmを超える地域がある。(7km以内)</li> <li>・平成31年度からも一部片道4kmを超える地域がある。(9km以内)</li> </ul>						
	5 将来的な児童数の展望は	・やや減少傾向と予想される。						
	6 学校の位置は適当か	・学区のやや西部に位置している。						
	7 その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度末を持って、富岡小学校と統合し、校名が富来田小学校となる。また富来田中学校と合わせ、小中一貫校となる。</li> <li>・学区が広範囲のため、山間地の児童には自転車通学を許可している。</li> <li>・給食は親子方式であり、自校で調理している。</li> </ul>						

※本来は複式学級が2つできる計算だが、増置教員を活用し、複式学級を1つとしている。

⑮富岡小学校		年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度
児童数・学級数の推移	児童数	28							
	学級数	※4 (2)							
施設関係	建設年度	就学可能学級数		他の用途で使用している教室					
	S50・57	6		2					
	他の用途で使用している教室（普通教室に転用可能な教室）の活用状況								
	学習室2								
現状と課題	1 教室は足りているか	・足りている。							
	2 敷地面積は十分か	・十分である。							
	3 施設は整備されているか	・体育館、プール有り。							
	4 通学距離は適当か	・一部片道4 kmを超える地域がある。（5. 5 km以内）							
	5 将来的な児童数の展望は								
	6 学校の位置は適当か	・学区の北東部に位置している。							
	7 その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学区は市東部に位置し、袖ヶ浦市・君津市と隣接している。</li> <li>・農業に従事している住民が多く、人口増は見込み難い地域である。</li> <li>・平成31年度より、馬来田小学校と統合し、富来田小学校となる。また富来田中学校と合わせ、小中一貫校となる予定である。</li> <li>・平成31年度からバスを利用した通学となる予定である。</li> <li>・小規模特認校である。</li> <li>・給食は自校で調理している。</li> </ul>							

⑯畑沢小学校		年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度
児童数・学級数の推移	児童数	564	542	559	549	553	546	510	
	学級数	19 (3)	18 (3)	19 (3)	18 (3)	18 (3)	18 (3)	18 (3)	
施設関係	建設年度	就学可能学級数		他の用途で使用している教室					
	S53・54・H3	24		2					
	他の用途で使用している教室（普通教室に転用可能な教室）の活用状況								
	児童会室1、ボランティア&PTA室1								
現状と課題	1 教室は足りているか	・足りている。							
	2 敷地面積は十分か	・十分である。							
	3 施設は整備されているか	・体育館、プール有り。							
	4 通学距離は適当か	・学区全域が片道3. 5 km以内である。							
	5 将来的な児童数の展望は	・やや減少傾向と予想される。							
	6 学校の位置は適当か	・学区のやや南部に位置している。							
	7 その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学区は市南西部に位置し、君津市と隣接している。</li> <li>・畑沢土地区画整理事業の宅地造成に伴い、昭和53年4月に波岡小学校から分離し、開校した。</li> <li>・木更津市学校給食センター受配校である。</li> </ul>							

⑰請西小学校								
児童数・学級数の推移	年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度
	児童数	488	464	488	473	463	485	473
	学級数	16 (3)	15 (3)	16 (3)	15 (3)	14 (3)	15 (3)	15 (3)
施設関係	建設年度	就学可能学級数		他の用途で使用している教室				
	S54・56・ H3・15	32		13				
	他の用途で使用している教室（普通教室に転用可能な教室）の活用状況							
	学年室5、研修室1、外国語教室1、児童会室1、 少人数教室1、多目的室1、PTA室1、資料倉庫1、 書庫(市役所文書保存)							
現状と課題	1 教室は足りているか	・足りている。						
	2 敷地面積は十分か	・十分である。						
	3 施設は整備されているか	・体育館、プール有り。						
	4 通学距離は適当か	・学区全域が片道2km以内である。						
	5 将来的な児童数の展望は	・ほぼ横ばいと予想される。						
	6 学校の位置は適当か	・学区の北端に位置している。						
	7 その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童増に伴い、木更津第二小学校から請西地区と真舟地区が、清見台小学校から太田地区が分離し、創設された。</li> <li>・社会増により児童数が急増したため、平成26年に真舟小学校と分離した。</li> <li>・平成29年7月より請西千束台土地区画整理区域が真舟小学区から請西小学区となった。</li> <li>・木更津市学校給食センター受配校である。</li> </ul>						

⑱八幡台小学校								
児童数・学級数の推移	年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度
	児童数	895	882	872	840	790	712	651
	学級数	27 (4)	27 (4)	27 (4)	26 (4)	24 (4)	22 (4)	21 (4)
施設関係	建設年度	就学可能学級数		他の用途で使用している教室				
	S56・57・59 H23・27	31		1				
	他の用途で使用している教室（普通教室に転用可能な教室）の活用状況							
	会議室1							
現状と課題	1 教室は足りているか	・足りている。						
	2 敷地面積は十分か	・十分である。						
	3 施設は整備されているか	・体育館、プール有り。						
	4 通学距離は適当か	・学区全域が片道2.5km以内である。						
	5 将来的な児童数の展望は	・大幅な減少が予想される。						
	6 学校の位置は適当か	・学区の西部に位置している。						
	7 その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・羽鳥野地区の人口急増に伴い、児童数が増加した。</li> <li>・学区内は急な坂道や細い道路が多い。</li> <li>・通勤時間帯の交通量が非常に多い。</li> <li>・平成23年、平成27年にそれぞれ校舎を増設した。</li> <li>・給食は親子方式であり、自校で調理している。</li> </ul>						

⑱真舟小学校								
児童数・学級数の推移	年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度
	児童数	941	987	1031	1029	1044	1026	985
	学級数	29 (3)	30 (3)	32 (3)	31 (3)	31 (3)	31 (3)	30 (3)
施設関係	建設年度	就学可能学級数			他の用途で使用している教室			
	H26	30			0			
	他の用途で使用している教室（普通教室に転用可能な教室）の活用状況							
	※現在32学級あるので、図工室(1)、視聴覚室(1)、多目的室(2)を教室に転用し、特別支援学級は1教室を2学級で使用 中							
現 状 と 課 題	1 教室は足りているか	・校舎増築後は36年度まで足りる見込みである。						
	2 敷地面積は十分か	・十分である。						
	3 施設は整備されているか	・アリーナ(屋内運動場)、プール有り。						
	4 通学距離は適切か	・学区全域が片道2km以内である。						
	5 将来的な児童数の展望は	・ほぼ横ばいと予想される。						
	6 学校の位置は適切か	・学区のほぼ中央に位置している。						
	7 その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童増に伴い、木更津第二小学校から真舟地区が、請西小学校から請西南1～5丁目、請西東6～8丁目、請西地区の一部が分離し、設立された。</li> <li>・31年度から、請西東6～8丁目、請西南2～4丁目の児童は、木更津第二中学校から太田中学校へ進学先が変更となる。</li> <li>・児童の急増に伴い、平成30年度に8教室を増設する予定である。</li> <li>・平成29年7月より請西千束台土地区画整理区域が真舟小学区から請西小学区となった。</li> <li>・木更津市学校給食センター受配校である。</li> </ul>						

①木更津第一中学校									
		年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度
生徒数・学級数の推移		生徒数	304	316	333	310	303	281	283
		学級数	10 (2)	10 (3)	11 (3)	9 (3)	9 (3)	9 (3)	9 (2)
施設関係		建設年度	就学可能学級数			他の用途で使用している教室			
		S43・44	17			5			
		他の用途で使用している教室（普通教室に転用可能な教室）の活用状況							
		学年室2、進路指導室1、カウンセリング室1、生徒会室1							
現状と課題	1 教室は足りているか	・足りている。							
	2 敷地面積は十分か	・十分である。							
	3 施設は整備されているか	・体育館、武道場有り。							
	4 通学距離は適切か	・学区全域が片道3km以内である。							
	5 将来的な生徒数の展望は	・やや減少傾向と予想される。							
	6 学校の位置は適切か	・学区の中心部に位置している。							
	7 その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通学区域は、木更津第一小学区と西清小学校の一部学区である。</li> <li>・昭和56年度の学区再編により、朝日2・3丁目、長須賀が学区に編入された。</li> <li>・木更津市学校給食センター受配校である。</li> </ul>							

②木更津第二中学校									
		年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度
生徒数・学級数の推移		生徒数	557	543	487	469	481	536	548
		学級数	15 (3)	15 (3)	14 (3)	14 (3)	14 (3)	16 (3)	16 (2)
施設関係		建設年度	就学可能学級数			他の用途で使用している教室			
		S47・48・50	18			1			
		他の用途で使用している教室（普通教室に転用可能な教室）の活用状況							
		学年室1							
現状と課題	1 教室は足りているか	・34年度までは足りる見込みである。35年度以降は学年室を普通教室に転用して対応。							
	2 敷地面積は十分か	・敷地形状により十分な運動場が確保できない。							
	3 施設は整備されているか	・体育館、プール有り。							
	4 通学距離は適切か	・学区全域が片道3.5km以内である。							
	5 将来的な生徒数の展望は	・ほぼ横ばいと予想される。							
	6 学校の位置は適切か	・学区の北部に位置している。							
	7 その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通学区域は、木更津第二小学区と請西小学校の一部学区、真舟小学区である。</li> <li>・学校のすぐ下を国道16号線が通っており、おびただしい交通量である。</li> <li>・生徒の急増に伴い、平成31年4月の新入生より請西東6丁目～8丁目、請西南2丁目～4丁目木更津二中学区から太田中学区に変更となる。</li> <li>・請西千束台土地区画整理区域の街開きにより、生徒数は更に多くなることが予想される。</li> <li>・木更津市学校給食センター受配校である。</li> </ul>							

③木更津第三中学校								
生徒数・学級数の推移	年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度
	生徒数	242	277	307	340	318	292	276
	学級数	9 (3)	9 (3)	9 (1)	10 (3)	10 (3)	9 (3)	9 (3)
施設関係	建設年度	就学可能学級数		他の用途で使用している教室				
	H23	14		2				
	他の用途で使用している教室（普通教室に転用可能な教室）の活用状況							
	学習室2							
現状と課題	1 教室は足りているか	・足りている。						
	2 敷地面積は十分か	・十分である。						
	3 施設は整備されているか	・体育館有り。						
	4 通学距離は適当か	・学区全域が片道2.5km以内である。 ・平成31年度より学区全域が片道3km以内となる。						
	5 将来的な生徒数の展望は	・やや増加傾向と予想される。						
	6 学校の位置は適当か	・学区のやや南西部に位置している。						
	7 その他	・通学区域は、西清小学校の一部学区と祇園小学校の一部学区であるが、通学区域見直しにより、平成31年4月の新入生より祇園小学区全てが木更津第三中学区となる。 ・平成22年度に校舎を全面改築し、新しい校舎となった。 ・給食は親子方式であり、八幡台小で調理している。						

④岩根中学校								
生徒数・学級数の推移	年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度
	生徒数	198	190	191	222	226	227	198
	学級数	6 (2)	6 (2)	6 (3)	7 (3)	7 (2)	7 (2)	6 (2)
施設関係	建設年度	就学可能学級数		他の用途で使用している教室				
	S46・47・48・51	18		10				
	他の用途で使用している教室（普通教室に転用可能な教室）の活用状況							
	学年室3、多目的室4、生徒会室1、PTAルーム1、E(英語)ルーム1							
現状と課題	1 教室は足りているか	・足りている。						
	2 敷地面積は十分か	・十分である。						
	3 施設は整備されているか	・体育館、プール有り。						
	4 通学距離は適当か	・学区全域が片道3.5km以内である。						
	5 将来的な生徒数の展望は	・ほぼ横ばいと予想される。						
	6 学校の位置は適当か	・学区の北東部に位置している。						
	7 その他	・通学区域は高柳小学区であり、JR内房線の東側の旧市街地である。 ・学区には国道16号線バイパス道路と旧道が並行して走り、交通量が多い場所がある。 ・給食は親子方式であり、高柳小で調理している。						

⑤鎌足中学校		年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度
生徒数・学級数の推移	生徒数	46	48	47	43	45	41	48	
	学級数	3 (1)	3	3 (1)	3 (1)	3 (1)	3 (2)	3 (2)	
施設関係	建設年度	就学可能学級数		他の用途で使用している教室					
	S60	3		0					
	他の用途で使用している教室（普通教室に転用可能な教室）の活用状況								
現状と課題	1 教室は足りているか	・34年度までは足りている。35年度は会議室を特別支援学級へ転用することで対応可能と思われる。							
	2 敷地面積は十分か	・十分である。							
	3 施設は整備されているか	・体育館、プール有り。							
	4 通学距離は適当か	・学区全域が片道4.5km以内である。							
	5 将来的な生徒数の展望は	・ほぼ横ばいと予想される。							
	6 学校の位置は適当か	・学区の北西部に位置している。							
	7 その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通学区域は鎌足小学区である。</li> <li>・旧鎌足村地区であり、地域の繋がりの強い地区である。</li> <li>・学区の大半が市街化調整区域であるため、将来的にも生徒数の大幅増は見込めない状況である。</li> <li>・給食は親子方式であり、鎌足小で調理している。</li> </ul>							

⑥金田中学校		年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度
生徒数・学級数の推移	生徒数	72	78	81	78	85	93	108	
	学級数	3 (1)	3 (2)	3 (2)	3 (2)	3 (2)	3 (2)	4 (2)	
施設関係	建設年度	就学可能学級数		他の用途で使用している教室					
	S41	7		3					
	他の用途で使用している教室（普通教室に転用可能な教室）の活用状況								
	会議室1、適応教室1、生徒会室1								
現状と課題	1 教室は足りているか	・36年度までは足りる見込みである。							
	2 敷地面積は十分か	・十分である。							
	3 施設は整備されているか	・体育館、プール有り。							
	4 通学距離は適当か	・学区全域が片道3.5km以内である。							
	5 将来的な生徒数の展望は	・大幅な増加が予想される。							
	6 学校の位置は適当か	・学区の南部に位置している。							
	7 その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通学区域は金田小学区である。</li> <li>・大型商業施設の進出や土地区画整理事業が施行されたことにより、人口の急増が予想される。</li> <li>・給食は親子方式であり、金田小で調理している。</li> </ul>							



⑦中郷中学校								
生徒数・学級数の推移	年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度
	生徒数	12						
	学級数	2 (1)						
施設関係	建設年度	就学可能学級数		他の用途で使用している教室				
	S41・43・50・H8	5		2				
	他の用途で使用している教室（普通教室に転用可能な教室）の活用状況							
	教材室&用具室1、進路相談室1							
現状と課題	1 教室は足りているか	・足りている。						
	2 敷地面積は十分か	・十分であるが、運動場は道路を挟んだ反対側に位置している。						
	3 施設は整備されているか	・体育館有り。						
	4 通学距離は適当か	・学区全域が片道5 km以内である。						
	5 将来的な生徒数の展望は							
	6 学校の位置は適当か	・学区のやや東部に位置している。						
	7 その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通学区域は中郷小学区である。</li> <li>・旧中郷村地区であり、地域の繋がりの強い地区である。</li> <li>・学区の大半が市街化調整区域であるため、将来的にも生徒数の増は見込めない状況である。</li> <li>・平成30年度末を持って、清川中学校と統合し、中郷中学区の生徒は清川中学校に通学することとなる。</li> <li>・小規模特認校である。</li> <li>・給食は自校で調理している。</li> </ul>						

⑧富来田中学校								
生徒数・学級数の推移	年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度
	生徒数	120	109	99	87	90	92	89
	学級数	5 (2)	4 (2)	3 (2)	3 (2)	3 (2)	3 (2)	3 (2)
施設関係	建設年度	就学可能学級数		他の用途で使用している教室				
	S48	11		4				
	他の用途で使用している教室（普通教室に転用可能な教室）の活用状況							
	適応指導室2、国際理解教室1、多目的室1							
現状と課題	1 教室は足りているか	・足りている。						
	2 敷地面積は十分か	・十分である。						
	3 施設は整備されているか	・体育館、プール、武道場有り。						
	4 通学距離は適当か	・一部片道6 kmを超える地域がある。（10 km前後）						
	5 将来的な生徒数の展望は	・大幅な減少が予想される。						
	6 学校の位置は適当か	・学区のほぼ中心部に位置している。						
	7 その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通学区域は、馬來田小学区と富岡小学区である。</li> <li>・旧富来田町地区であり、地域の繋がりの強い地区である。</li> <li>・市内で最も学区が広く、市原市・袖ヶ浦市・君津市に隣接している。</li> <li>・平成31年度に富来田小学校と合わせ、小中一貫校となる予定である。</li> <li>・給食は親子方式であり、馬來田小で調理している。</li> </ul>						

⑨太田中学校		年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度
生徒数・学級数の推移	生徒数	534	582	629	703	695	704	711	
	学級数	16 (3)	17 (3)	18 (3)	20 (3)	20 (3)	21 (3)	20 (3)	
施設関係	建設年度	S52・55・63 H23		就学可能学級数		他の用途で使用している教室			
				20		1			
	他の用途で使用している教室（普通教室に転用可能な教室）の活用状況								
	生徒活動室 1								
現状 と 課 題	1 教室は足りているか	・31年度は足りるが、32年度以降は校舎増築で対応。							
	2 敷地面積は十分か	・十分である。							
	3 施設は整備されているか	・体育館、プール有り。							
	4 通学距離は適当か	・学区全域が片道3km以内である。 ・平成31年度より学区全域が片道3.5km以内となる。							
	5 将来的な生徒数の展望は	・大幅な増加が予想される。							
	6 学校の位置は適当か	・学区のほぼ中心部に位置している。							
	7 その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現時点での通学区域は、清見台小学区と請西小学校の一部学区である。</li> <li>・平成31年度の新入生より、真舟小学区の請西東6～8丁目・請西南2～4丁目木更津第二中学校学区より、太田中学校区となる。</li> <li>・請西南地区の人口の増加に伴い、更に生徒数が増えることが予想される。</li> <li>・木更津市学校給食センター受配校である。</li> </ul>							

⑩畑沢中学校		年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度
生徒数・学級数の推移	生徒数	432	401	373	344	329	321	349	
	学級数	13 (2)	12 (2)	12 (3)	10 (3)	10 (2)	9 (2)	10 (1)	
施設関係	建設年度	S55・56・59		就学可能学級数		他の用途で使用している教室			
				16		3			
	他の用途で使用している教室（普通教室に転用可能な教室）の活用状況								
	会議室 1、生徒会室 1、多目的室 1								
現状 と 課 題	1 教室は足りているか	・足りている。							
	2 敷地面積は十分か	・十分である。							
	3 施設は整備されているか	・体育館、プール有り。							
	4 通学距離は適当か	・学区全域が片道2.5km以内である。							
	5 将来的な生徒数の展望は	・減少傾向と予想される。							
	6 学校の位置は適当か	・学区の東部に位置している。							
	7 その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通学区域は、畑沢小学区と波岡小学校の一部学区である。</li> <li>・市西南部に位置し、君津市に隣接している。</li> <li>・昭和55年4月に木更津第二中学校から分離し、開校した。</li> <li>・木更津市学校給食センター受配校である。</li> </ul>							

⑪岩根西中学校								
生徒数・学級数の推移	年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度
	生徒数	195	174	160	139	140	146	154
	学級数	6 (2)	6 (2)	6 (2)	6 (2)	6 (3)	6 (3)	6 (2)
施設関係	建設年度	就学可能学級数			他の用途で使用している教室			
	S57	12			4			
	他の用途で使用している教室（普通教室に転用可能な教室）の活用状況							
	学習室3、視聴覚室1							
現状と課題	1 教室は足りているか	・足りている。						
	2 敷地面積は十分か	・十分である。						
	3 施設は整備されているか	・体育館、プール有り。						
	4 通学距離は適当か	・学区全域が片道3km以内である。						
	5 将来的な生徒数の展望は	・減少傾向と予想される。						
	6 学校の位置は適当か	・学区のほぼ中心部に位置している。						
	7 その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通学区域は岩根小学区であり、JR内房線の西側の旧市街地である。</li> <li>・建物敷地と運動場に借用地がある。</li> <li>・給食は親子方式であり、岩根小で調理している。</li> </ul>						

⑫波岡中学校								
生徒数・学級数の推移	年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度
	生徒数	396	418	462	497	491	498	501
	学級数	11 (2)	12 (3)	14 (3)	15 (3)	15 (3)	15 (2)	15 (1)
施設関係	建設年度	就学可能学級数			他の用途で使用している教室			
	S58	20			7			
	他の用途で使用している教室（普通教室に転用可能な教室）の活用状況							
	学年職員室1、特活室2、学習室2、多目的室1、資料室（施設課文書保存）1							
現状と課題	1 教室は足りているか	・足りている。						
	2 敷地面積は十分か	・十分である。						
	3 施設は整備されているか	・体育館、プール有り。						
	4 通学距離は適当か	・学区全域が片道4km以内である。						
	5 将来的な生徒数の展望は	・大幅な増加が予想される。						
	6 学校の位置は適当か	・学区の南西部に位置している。						
	7 その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通学区域は、波岡小学校の一部学区と八幡台小学区である。</li> <li>・大久保、八幡台、羽鳥野といった宅地造成地を有する地域である。</li> <li>・給食は親子方式であり、波岡小で調理している。</li> </ul>						

⑬清川中学校								
生徒数・学級数の推移	年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度
	児童数	381	383	358	351	339	342	317
	学級数	12 (2)	12 (2)	10 (2)	10 (3)	10 (3)	10 (3)	9 (3)
施設関係	建設年度	就学可能学級数			他の用途で使用している教室			
	S60	12			0			
	他の用途で使用している教室（普通教室に転用可能な教室）の活用状況							
現状と課題	1 教室は足りているか	・足りている。						
	2 敷地面積は十分か	・十分である。						
	3 施設は整備されているか	・体育館、プール有り。						
	4 通学距離は適切か	・学区全域が片道6km以内である。						
	5 将来的な生徒数の展望は	・減少傾向と予想される。						
	6 学校の位置は適切か	・学区の北西部に位置している。						
	7 その他	・通学区域は、祇園小学校の一部学区、東清小学区、南清小学区であるが、通学区域見直しにより平成31年度の新入生より祇園小学区は全て木更津第三中学区となる。 ・生徒増のため、昭和60年度に木更津第三中学校から分離し、開校した。 ・清川中学校と中郷中学校と統合により、平成31年度より中郷小学校学区の児童は清川中学校に通うこととなる。 ・給食は親子方式であり、祇園小で調理している。						